

全国 31 万会場で約 7 千万台の自転車の整備点検、2,500 会場で講習会を実施
平成 19 年度自転車点検整備促進地域活動事業報告

財団法人自転車産業振興協会は、自転車の点検・整備を目的とした『平成 19 年度点検整備促進地域活動事業※1』を日本全国で実施しました。同事業は、昨年度までに、延べ 311,398 会場で開催され、点検・整備を行なった自転車は、延べ 69,716,883 台となりました。

(H19 年度は、3,365 会場〔拠点型点検+店舗型点検〕で点検・整備を実施。対象総台数は 566,155 台となりました) また、事業の一環として、延べ 2,569 会場で『点検整備促進講習会※2』を実施。延べ 382,577 人に参加頂くことが出来ました。

【平成 19 年度自転車の点検・整備傾向】

平成 19 年度の傾向としては、総点検台数の 30.3%

(171,417 台) が整備不良車として、点検・整備を受けました。整備不良車の割合は過去 5 年の調査と比較するとほぼ横ばいで、道路交通法に定められている主要点検 3 項目については、それぞれ

ブレーキ: 49,243 台 (8.7%)、ベル・ブザー: 43,902 台 (7.8%)、リフレクタ・尾灯: 16,468 台 (2.9%) の割合で整備不良車が確認されました。

年度	整備良好車	整備不良車
H17	70.2%	29.8%
H18	67.8%	32.2%
H19	69.7%	30.3%

過去 3 年間の点検整備良好車・不良車の構成比

同協会では、自転車各部の点検の重要性、また、要整備箇所が確認された場合、速やかに自転車技士等の有資格者※3 による整備を行なう重要性を、同活動事業を通して自転車を利用する皆様に訴求していきます。

※ 1～※3 は次項ご参照ください。

※ 別紙に各都道府県別拠点型・店舗型点検及び講習会の実施結果を添付しております。

報道関係者様、貴紙・誌読者、からのお問い合わせ先

財団法人自転車産業振興協会 統括事業部 伊崎

TEL : 03-5572-6409



この事業は競輪の補助金を受けて実施するものです。

<http://ringring-keirin.jp>



※1. 点検整備促進地域活動事業

自転車乗用安全対策の向上を図る為、自転車技士・自転車組立整備士・自転車安全整備士の資格を有する日本自転車軽自動車商協同組合連合会傘下の、都道府県自転車商協同組合の協力を得て、全国規模で自転車の点検整備を行います。

尚、同事業は昭和42年度より毎年実施しており、本年で42年目を迎えます。

※2. 点検整備促進講習会

自転車利用者を対象とし、乗用安全意識の高揚並びに点検・整備の励行の推奨を目的とした自転車の点検整備に関する講習会。自治体・学校・警察等が主催する各種催事と連携し、自転車の選び方や、整備の重要性、正しい自転車の乗り方などの問題点などを受講者に分かりやすく説明します。

尚、同講習会は平成10年度から実施しており、本年で11年目を迎えます。

※3. 有資格者

自転車技士、自転車組立整備士、自転車安全整備士を本文では対象としています。



点検整備促進講習会の様子



拠点型街頭点検の様子

■ 小冊子『自転車の楽しく安全な乗り方』

自転車のルールやマナーを説明した小冊子を点検・整備、及び講習会の際に、参加者に配布しています。

本小冊子は、すべての漢字にルビをふり、楽しいイラストを多く使用して、小学校低学年の児童にも読みやすい内容となっています。

また、希望者には送料負担での発送も行っております。

